

Welcome to ZENKYO

All Japan Teachers and Staffs Union

ともに学び
成長できるところ
それが
「組合」です



佐伯綾香 兵庫教職員組合

人間らしく働くために

入江貴之 山口県高等学校教職員組合

全教青年部のアンケートでは、年休や特別休暇について、知る機会がないと答えた教職員が50%。また、制度があっても忙しすぎて休めない実態もあります。全教青年部は、勤務時間や休暇制度の周知、教職員定数増など、教職員の長時間過密労働の是正を求めて文部科学省との交渉をおこなっています。人間らしく働くために、全教に加入しましょう。

全国に教職員の仲間が

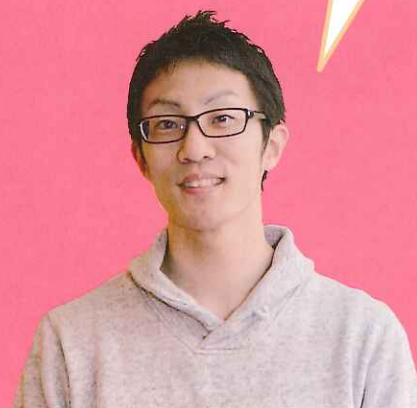
除村美和 埼玉県教職員組合

全国の青年教職員が集まる学習交流集会「TANE!」を毎年開催しています。2014年度は、静岡県伊東市に200名がつどい、「悩みを語ることができた」「元気をもらえた」という感想が寄せられました。忙しい中だからこそ、集まって語りあうことが、明日の授業に向かうエネルギー源になっています。都道府県や地域、職場でも集まりましょう。

平和な未来を子どもたちに

多田康記 香川県高等学校教職員組合

毎年8月に広島市と長崎市で開かれる「原水爆禁止世界大会」には多くの教職員が参加し、被爆者の話を聴き、核兵器をなくす運動を交流しています。また、年末には全教青年部「青年教職員平和の旅」をおこなっています。2014年12月にはポーランド・アウシュビッツなどを訪ねました。核兵器や戦争の悲惨な歴史を正しく知ることはとても大切です。



あなたも全教へ

学び、つながり、支えあう、それが全教です

すべての子どもの成長、発達を保障する教育を実現するためには、教職員の学びあい、つながり、支えあいが不可欠です。全教は、全国の職場で教職員の協力・共同を大切にしたりくみをすすめています。ぜひ、全教の教職員組合に加入して、いっしょに子どもたちと日本の教育を守り、未来を拓きましょう。

安心して、いきいきと働き続けたい

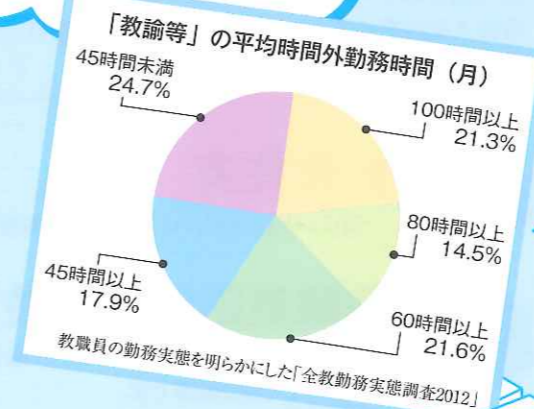
「かなり苦しい」13.7%、「やや苦しい」42.4%、全教の春闘アンケートに寄せられた教職員の生活実感です。安心して暮らせる条件は、充実した教育を支える土台。国家公務員・地方公務員の仲間と力をあわせ、民間労働者との共同を広げる運動が力を発揮します。



「すべての労働者の賃金を上げよ」と運動しています (日本経団連前)

忙しすぎる毎日を何とかしたい

「忙しいね」が、教職員のあいさつがわりになっています。教職員の長時間過密労働は、全教の実態調査でも、OECDの国際調査でも明らかです。多忙化は、健康破壊につながり、教育の充実にもマイナス。待たなしの課題です。



教職員の笑顔と安心は、教育の真諦



臨時教職員のための教員採用試験対策講座が各地でとくまれています

教育に「臨時」はない、均等待遇を

臨時・非常勤で働く教職員は、全国で約20万人。病休や介護休暇に入る教職員がいても代替者が配置されないケースが続出するなど、問題が広がっています。多すぎる臨時・非常勤に歯止めをかけ、一日も早い正規採用、労働条件の改善が急務です。

仲間を一人にしない、支えあう職場づくり

仕事に追われるような日々だからこそ、集まり、語りあうとりくみが重要になっています。「最近どう?」「授業どう?」という職場での声かけ、つながり、教職員の連帯は、管理や統制をねらう動きにしっかり立ち向かえる力です。



ベテランと青年が、より良い職場づくりに向けて話しあう (富山高)

いい授業がしたい、みんなの願いをいかに

学びたいテーマで仲間が集まり、学びあう場が広がっています。一日の仕事を終えたあと、青年が地域で集まり、ベテランにも支えられて学びあい、語りあう場が各地に生まれています。いい授業をしたい、願いを出発点にした学びの場です。



全国の青年教職員が実践をもちり学びあっています

全国に仲間がいるから...

一人ひとりの子どもを大切に

ゆきとどいた教育は、すべての教職員の願いです。国の責任で少人数学級を前進させ、お金の心配なく学校に通うことのできる条件整備を求める運動が続いています。全国各地でとりくまれ、約735万筆 (2014年度)を集めた教育全国署名はその柱です。



より良い教育へのねがいを集めた署名を国会に提出 (教育全国署名集約集会)

被災地の声を政治と教育に

4年が経つにもかかわらず、困難が続く被災地の学校と教育。被災地の現状を交流しながら、その要求を政府に迫るとりくみが続いています。各地の「ふくしまの子どもにのびのびタイム」に、被災地の子どもたちの笑顔がはじけています。



福島の子を招待した「いも煮会」(山形)

できないことはできないと言っていい！ 解決に向けて一緒に歩みだそう

自分は教師に向いていない？

「採用1年目ののに退職を考えてしまう」ほど、学校は多忙で余裕がありません。「自分は教師に向いていないかも…」と思ったら、迷わず全教に相談しましょう。話すことで、悩みが「自分だけじゃなかった！」に変わります。相談して退職を思いとどまった仲間もいます。

こんな時は
全教に相談

授業がなかなかうまくいかない

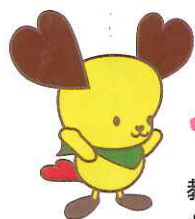
「がんばった分だけ、子どものためになることがやりにくい。教材研究をする時間ももっとほしい」「子どもの見方についてもっと学びたい」。全教では、子どもの権利条約や憲法をいかした学習を職場や、地域、全国でおこなっています。一緒に勉強しましょう。

毎晩遅くまでくたくた

「とにかく忙しい」「平日20時帰宅、土日部活練習。苦しさいっぱい。部活動の負担が大きい」「休みをとる暇がない」。月80時間を超える時間外勤務は過労死ラインです。子どもたちは元気な先生が大好き。全教では、誰もが働きやすい職場づくりをめざしています。

セクハラ、パワハラに我慢の限界！

「休暇取得時に執拗に理由を聞かれる」「パワハラを受け、早く辞めたいという気持ちが今は大きい」。悩みを全教に相談したことで、解決した事例はたくさんあります。また、全教の運動により、教育委員会でパワハラ防止指針を作った自治体も増えています。

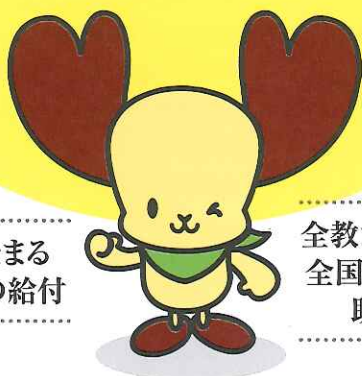


全教共済

全教共済は教職員とその家族を守るため全教が運営している自主共済です。あなたも全教共済の助けあいの輪に加わりませんか。

そろえば安心！

全教共済 ビッグスリー+1



心あたたまる
思いやりの給付

全教だからできる
全国の教職員の
助けあい

全教共済の特長

- ① 利潤を目的にしていないから安い掛金で充実の保障
- ② 加入者の声に応えた民主的運営と迅速な給付
- ③ 教職員の立場を理解したきめ細かい対応

ワン 総合共済

うれしいとき、かなしいときにあなたを応援します。

ツー 教職員賠償責任共済

教職の仕事に起こった事故で、賠償責任が問われたときの補償です。

スリー 暮らしの賠償責任共済

日常生活における法律上の賠償責任からあなたを守ります。

+1 全教自動車保険

教職員とその家族を守って25年。教職員の仕事・暮らしを熟知しているからできる事故対応。

※詳しい内容は職場で配布される全教共済のパンフレットをご覧ください。

全教(全日本教職員組合)とは？

全教(全日本教職員組合)は、幼稚園・小学校・中学校・高校・障害児学校、私立学校で働く教職員の組合で、1991年に結成されました。各都道府県に組織があり、よりよい学校と教育をつくるための活動や、働きやすい職場づくり、教職員の賃金・労働条件の改善にとりこんでいます。また、「教え子を再び戦場に送るな」の誓いを胸に、憲法を守り、いかなる運動をすすめています。全教は、思想・信条の違いを超え、要求で一致して行動している組合です。

そもそも労働組合って？

ワンポイント

憲法28条の団結権を根拠に、労働者が労働条件の改善などを目的に組織します。



全日本教職員組合

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館3階

TEL:03(5211)0123 FAX:03(5211)0124 Email:zenkyo@educas.jp

ホームページ:http://www.zenkyo.biz/ 全教 検索